

令和6年第5回加須市教育委員会臨時会会議録

招集の日時	令和6年10月29日	午前10時30分
招集の場所	教育委員会室	
開会の日時	令和6年10月29日	午前10時50分
閉会の日時	令和6年10月29日	午前12時00分
出席者の氏名	小野田誠教育長、遠藤康江教育長職務代理者、猪股富美子委員、秋山哲也委員、松永修委員、片山上総委員	
欠席者の氏名		
会議に出席した者の氏名	中島高広学校教育部長、野本朋子こども局長兼学校教育部理事、高貫貢生涯学習部副部長兼教育総務課長、高橋一也学校教育課長兼指導主事、関口久美子こども保育課長兼学校教育部主席専門員、植木孝幸子育て支援課長、秋山天学校教育課主幹兼指導主事、三好貴尋学校教育課主幹兼指導主事、斉藤将宏子育て支援課主幹、杉田勝学校教育課教育専門員兼教育総務課教育専門員、岡田正道教育総務課主幹	
会期日程	第 1	会議時間の決定
	第 2	会議録署名委員の指名
	第 3	協議事項 (仮称) 加須市こども・若者・子育て支援計画の素案について
	第 4	その他
発言者	会議の概要	
小野田教育長	<p>ただいまから、令和6年第5回加須市教育委員会臨時会を開会します。 本日の議事日程につきましては、別紙のとおりでございますので、ご了承願います。</p> <p>本日、事務局側の出席は、関係職員のみ、としておりますのでご了承ください。</p> <p>本日は、傍聴希望者はございません。</p>	
小野田教育長	<p>【日程第1 会議時間の決定】 日程第1 会議時間の決定についてでございますが、本日の日程がすべて終了するまでとすることよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしとの声あり)</p> <p>それでは、会議時間は、本日の日程がすべて終了するまでといたします。</p>	
小野田教育長	<p>【日程第2 会議録署名委員の指名】 日程第2 会議録署名委員の指名について、今回は秋山委員にお願いいたします。</p>	

秋山委員	はい。
小野田教育長	<p>この後、協議事項「(仮称)加須市こども・若者・子育て支援計画の素案について」の協議となりますが、市長部局の子育て支援課からの説明を求めますので、加須市教育委員会会議規則第17条に基づき、関係課を入室させてよろしいですか。</p> <p>(よろしいとの声あり)</p> <p>それでは、入室を認めます。</p>
小野田教育長	<p>【日程第3 協議事項「(仮称)加須市こども・若者・子育て支援計画の素案について」】</p> <p>協議事項「(仮称)加須市こども・若者・子育て支援計画の素案について」を協議します。</p> <p>協議中の司会進行は、こども局長にさせます。</p>
野本こども局長	<p>協議事項「(仮称)加須市こども・若者・子育て支援計画の素案について」協議をお願いします。</p> <p>協議の内容等につきまして、子育て支援課長から説明させていただきます。</p>
植木子育て支援課長	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)加須市こども・若者・子育て支援計画の素案について説明
野本こども局長	<p>これより協議を行います。</p> <p>ご質疑、ご意見等ございますか。</p>
猪股委員	<p>6ページに表示されている図についてですが、ここで「こども」と「若者」を分けて説明しています。「子ども・子育て支援法」では、「こども」は18歳までとされていますが、「子ども・若者育成支援推進法」には「こども」「若者」の年齢区分の規定がありません。ここでは「若者」に中学生が含まれていますが、中学生は義務教育の年齢であり、一般的には「こども」という感覚があります。中学生は思春期に含まれていて、こども・子育て関連の法律の中でも、思春期が「こども」と「若者」の両方に含まれています。法律的にも市民の感覚的にも、中学生を「こども」と「若者」の両方にかけていることが必要ではないでしょうか。</p> <p>次に、45ページの施策の体系についてですが、各自治体が策定する計画は、埼玉県のこども計画に基づいて調製されています。この埼玉県の計画はライフステージを通した施策とライフステージ別の施策で組み合わせていて、加須市の計画とは異なる点があります。あえて、埼玉県の計画と変えている理由を教えてください。</p>
植木子育て支援課長	<p>中学生に関しては、根拠を確認して図の検討を行いたいと思います。</p> <p>次に、施策の体系についてですが、県ではライフステージに基づいています。一方、市の計画は「こども・若者・子育て支援計画」という名称の並び順を基本にしています。そのため、1番から6番までの項目は、こども・若者への支援に関する基本目標を並べています。7番から12番は、子育て支援に関する基本目標で、</p>

出産からこどもの成長期までの時系列を考慮して体系を整えています。

松永委員

33ページのヤングケアラーに関する内容についてですが、注釈を入れたことで理解はできましたが、依然として違和感があります。数字的にかなり高い割合が示されています。「相当数含まれている可能性があります」と表現されていますが、例えば、「相当数含まれていることが考えられます」という表現の方が、実態をより正確に反映するのではないかと思います。

このヤングケアラーの部分は、以前の協議でも話題にしていますので、再度確認が必要かと感じています。

猪股委員

注釈で「可能性があります」と記載するのであれば、出さない方が良いと思います。もし新たな調査に基づく正確なデータであれば良いのですが、逆に不安を煽るような情報を中途半端に提示して誤解を招くのは避けるべきです。

ヤングケアラーは重要な社会課題ですので、関連する情報は必要ですが、「可能性があります」という表現は無責任な印象を与えかねず、もっと信頼できるデータがあれば、それを使用すべきだと思います。

野本こども局長

ヤングケアラーに関するデータについて、提示するかどうか再度検討します。今後、アンケート調査を年に1回以上実施する予定です。

具体的な数字が出た時点で報告することや、他の信頼できるデータを提示することもできます。不確かなデータについての認識が不足していた点もあるため、もう少し考えさせてください。

秋山委員

42ページの基本理念について、以前の「こどもを産み育てることに喜びを実感できる」という表現が「子育てに希望や喜びを実感できる」に変更された点はとても良いと思います。子育てに対するプレッシャーを感じる方には、より前向きな表現に感じられるのではないかと思います。

33ページのヤングケアラーについて、そもそもヤングケアラーが何であるかを一般の方々が理解しているかどうか重要です。お子さんが家事や手伝いをしている場合、個々の感覚でヤングケアラーと捉えることもあります。調査においては、そのような状況を正しく把握する必要があると思います。そのため、もし再度調査を実施するのであれば、その調査方法についても再検討していただければと思います。

猪股委員

41ページの下に「達成率が低い施策の強化」という項目があり、新型コロナウイルス感染症の影響が理由として挙げられていますが、38ページと39ページの目標値の達成率を見たとき、こんなに低いのかと感じました。令和2年度から5年度の子ども・子育て支援計画の目標値の達成率にも、41ページの下と同様の注釈があった方が、行政の努力を伝える意味でも良いと思います。

次に、40ページの上から2つ目の課題である「こども・若者を犯罪被害や自殺、交通事故、虐待などから守るため」というのは非常に重要な課題です。犯罪に関する記述では、こどもや若者が被害者としての側面に焦点が当たりがちですが、最近のネット社会では、若者が無知を理由に加害者となるケースも増えています。このような状況に対処するためには、加害者にならないための教育も必要です。

「犯罪被害」と「加害」の両方に目を向ける必要があると感じています。

また、41ページの上から2つ目の課題である「子育て家庭の生活支援、親子

	<p>の健康づくりへの支援」という表現が多くページで使用されています。できれば、健康というところに「ウェルビーイング」というフレーズを加えていただければと思います。この考え方は国や県の政策でも広く使われており、計画の中にも盛り込むことで、健康に対する意識をさらに啓発できるのではないかと考えています。</p>
片山委員	<p>49ページ以降の指標についてですが、目標が1から順に並んでいますが、この指標に複数の指標を用いることができるのであれば、もう少し細かく提示しても良いのではないかと考えます。</p> <p>現状では、数値と内容がぼやけてしまう印象があります。資料をぱっと見たときには、数値に目が行きがちです。そこで、目標に対して複数の指標を示す形で、(1)として何%、(2)として何%といった具体的な数値を提示することで、よりわかりやすくなるのではないかと考えます。</p>
植木子育て支援課長	<p>今回は基本目標ごとに1つの指標を設定していますが、各目標の中には複数の項目があります。これについては、確認をした上で、検討いたします。</p>
松永委員	<p>58ページの「(2) 社会形成への参画支援」で、職場体験学習やふれあい講演会が挙げられていますが、これらは中学生を対象としていると思われます。そのため、具体的に「中学生」と明記しないと、一般の方にはわかりにくいと思います。</p> <p>次に、「年度途中の入所ニーズに対応できる体制を整えた保育所に補助します」についてですが、何を補助するのかが明確ではありませんので、説明をお願いできればと思います。</p>
関口こども保育課長 兼学校教育部主席専門員	<p>国の補助制度には、0歳児や1歳児が途中入所した際の補助制度があります。特に0歳児は4月から入所しないため、保育士を確保しておく必要があります。しかし、途中で入所するまでの間、保育士を確保しておくのは民間保育園にとって運営が厳しくなる要因となります。そのため、その分が補助される制度です。わかりにくいため、表現を変更させていただきます。</p>
松永委員	<p>68ページの「(3) 学校教育の充実」のイの部分、幼稚園も対象に含まれているため、「幼稚園及び学校の教育力」とした方が適切だと思います。</p>
遠藤教育長職務代理者	<p>指標については、(1) (2)といった括弧の数だけの指標があると非常にわかりやすくなると思います。</p> <p>特に69ページの指標についてですが、基本目標12の「子育て」・「子育て」を支えるという項目内に指標が2つある中で、最後の「(4) 子育てにかかる経済的負担の軽減」の指標が含まれていないのは残念です。</p> <p>また、「自分の将来についての人生設計を考えたことがあるこども・若者の割合」というのは、非常に抽象的な表現に感じます。指標は、各基本目標に対して、見る人が理解しやすいような工夫をしていただきたいと思います。</p>
猪股委員	<p>51ページや69ページの指標など、こども家庭庁の調査に基づいているため、データの取り方が不明瞭です。そのため、こども家庭庁の指標にあまり依存せず、例えば51ページではこどもたちや若者が参加したイベントの数など、より現実</p>

的で具体的な指標を設定した方が良いのではないかと感じました。

次に、56ページについてですが、「(3) 障がいなどのあるこども・若者への支援」に関して、外国籍の子や特別支援の子がこの「など」に含まれていることに違和感を覚えます。大半は障がいに関する内容ですが、外国籍のこどもや若者への支援が一部だけ記載されているのは不十分に感じます。マイノリティへの配慮をした方がよいのではないかと感じました。

また、68ページや69ページの総合教育会議の開催や特別児童扶養手当の支給など、法律に基づいて行わなければならないことをあえて目標の中に書くことには違和感があります。

野本こども局長

指標の数値の中には掴みにくい数字もあるかと思いますが、調査は市が実施する予定です。委員さんのご意見を踏まえて指標が適切かどうか、もう一度考えていきたいと思っています。

植木子育て支援課長

基本目標の中の括弧ごとの指標は、今、市で取り組みをしているものがあれば載せられると考えています。

斉藤子育て支援課主幹

小・中学生についてはタブレットを活用し、高校生や大学生については市内の学校の協力を得て達成状況を把握したいと考えています。また、30歳までの方についてはWEB調査を検討しています。

計画最終年の目標値は、こども家庭庁のこども大綱や実行計画の中で、目標値が定められています。現在の加須市が、この指標についてどれぐらいの達成状況にあるかは把握ができていませんので、こども家庭庁の全国値の数値を使わせていただこうと思っています。なお、令和11年度の目標として国が掲げている目標をそのまま使うかどうかは、これからの検討となります。

猪股委員

若者に関するデータを、市内の高校や大学に通う学生に協力してもらうとのことですが、実際には市内の高校や大学に通っている学生は、加須市民でない子が多いと思われます。このため、加須市内のこどもや若者の実態に関する正確なデータを取得するのが難しくなります。

また、30歳までの対象者に対してWEB調査を検討とのことですが、WEB調査はタブレット調査とは異なります。私の経験からも、WEB調査で得られるデータは、WEBへのアクセス状況や属性に偏りが生じ、普通の調査とは異なる傾向があります。

このような理由から、WEB調査を実施する際には、調査の設計を十分に考慮した方がよいと思います。

猪股委員

57ページの「子育て応援フードドライブ、こども食堂・フードパントリーに取り組む団体数」の指標で、団体が増えるのはとてもハードルが高いです。この指標については、支援を受けたこどもの数や世帯の数にさせていただいた方が、より評価しやすいかと思っていますので、検討していただければと思います。

植木子育て支援課長

こども食堂やフードパントリーに関する指標は、支援を受けたこどもや世帯の数を設定する方向で調整していきたいと思っています。

遠藤教育長職務代理

ホームページやSNSへのアクセス回数は、個々の利用状況によって変動し、

者	実態を正確に反映しない可能性があります。特定の人が何度もアクセスする一方で、全く利用しない人もいるため、数字だけでは実際の利用状況を把握しにくいのではないかと懸念があります。
植木子育て支援課長	アクセス回数について、実人数を把握することは難しいため、検討したいと思います。
松永委員	<p>109ページの計画の進捗管理で、第2段落の「一方」の部分から上はPDCAサイクルのもと推進とあり、第2段落以後は「社会的な変化に応じた迅速な対応が求められる際には、柔軟な発想とスピーディな意思決定が求められるため、迅速な決定と実行に移行することが重要であるため『OODA（ウーダ）ループ』の考え方のもとで推進」とあります。この2つの関係が少しわかりにくいと思います。</p> <p>この最後のページは、重要なところなので、言葉や表現の仕方を整理してわかりやすくしていただきたいと感じました。</p>
遠藤教育長職務代理者	指標については、会議で別の指標がいいのではないかと指摘がされています。計画期間の5年間は、目標の達成度を適切に把握できる指標を、十分に考慮して設定していただきたいと思います。
猪股委員	<p>47ページのSDGsの目標との対応表について、見開きでなくても全体が一目で見えるようにしてほしいと思います。</p> <p>また、マルのつけ方は捉え方によって変わるため、もう一度検討していただきたいと思います。</p> <p>さらに、施策の違いをより明確にするために、目標1から6をこども・若者支援、7から12を子育て支援と分類し、ビジュアル面での工夫をしていただければと思います。</p>
小野田教育長	<p>それでは、協議を終わりにいたします。</p> <p>いただいた意見を踏まえ、再度事務局で検討してください。</p>
小野田教育長	<p>【日程第4 その他】</p> <p>日程第4 「その他」でございます。</p> <p>事務局から、何かありますか。</p>
小野田教育長	委員さんから何かございますか。
小野田教育長	<p>以上で、令和6年第5回臨時会の議事日程は、終了といたします。</p> <p>また、令和6年第11回定例会は、11月11日（月）に開会しますので、よろしく申し上げます。</p> <p>これをもちまして、令和6年第5回加須市教育委員会臨時会を閉会といたします。</p>

上記、会議の顛末を記載し相違ないことを証明するため、ここに署名する。

令和6年12月16日

教育長 小野田 誠

委員 秋山 哲也

書記 岡田 正道